

議会報告会報告書

平成27年7月26日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

A班

代表 河野 朋子

平成27年6月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成27年 7月23日(木) 19:00 ~ 20:03

2 開催場所

高泊公民館

3 参加人数(市民)

4 人

4 担当班議員名

(河野 朋子) (岩本 信子) (岡山 明) (河崎 平男)
(長谷川知司) (三浦 英統) (山田 伸幸)

5 報告会次第

(1) 市議会議長挨拶

(2) 6月議会の報告

① 総務文教常任委員会 (岡山 明) [司会] (長谷川知司)

② 民生福祉常任委員会 (三浦 英統) [記録] (山田 伸幸)

③ 産業建設常任委員会 (河崎 平男) [受付] (河野 朋子)

④ 一般会計予算決算常任委員会 (岩本 信子)

(3) 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

- ① 山陽オートの説明がよく分からない。売上げが増となって、委託料がなぜ増えるのか。

[回 答]

(包括的民間委託の) 委託先が日本トーターから日本写真判定に代わり、契約内容も変わったものである。

- ② 市に対する最低補償額が変わったのではないのか。

[回 答]

以前は1億1千万円であったが、委託先変更により5千万円になった。

- ③ 火葬場の視察先を三次市とした理由は何か。

[回 答]

三次市は新しく火葬場を建設をした際に市民の中から反対があり、副市長による市民説明会などをおこなっている。山陽小野田市では市の住民説明会が不十分で、民生福祉委員会として住民の意見を聞くこととした。近隣住民への対応などを学ぶために、三次市に視察に行った。

- ④ 中小企業振興基本条例の第8条市民のところ、市民にも中小企業の利用がうたわれているが、市民は安いところ、サービスの良いところを選ぶので制限をするような規定は設けるべきではないと思うがどうか。条例には「つとめる」とされていて強制されているように受け止められる。

[回 答]

市民にも中小企業振興に協力をして欲しいということである。

- ⑤ 山口東京理科大学について、公立化が言われているが、大学の経営が行き詰まり、それを市がかぶるように思う。これまでも大学経営のプロがおこなってき失敗したのではないのか。市の中に経営能力のある人がいるのか。もし上手くいかなければ、負債を貯めることになりはしないか、心配だ。

[回 答]

21日に特別委員会が開かれ、大学を持つための定款の議案が賛成多数となった。大学ができて20年、その間に90億円の累積赤字となっている。しかし、経営上は東京の本学との連結決算となっていて、赤字の穴埋めが「親の仕送り」でなんとかなっている状態であった。赤字の原因は、定員割れとのことだ。大学からは、公立化ができなければ廃校すると言ってきたようだ。公立化すれば、国の交付金で授業料を安くすることが出来る。また、教員の給料などは、国立大学並みとなり収支計画では赤字が出ないとされている。特別委員会では、それらの情報を元に審査し「大丈夫」とするものと「不安」というものに分かれ

たが、最終的には28日の本会議で決まる。

- ⑥ 山口東京理科大学は、レベル的にはどうなのか。魅力ある学校となっているのか。公立化して将来が心配だ。卒業生は地域で活躍しているのか。先生の給与が減ることになれば、先生の質が保てるのか。メリットあれば良い先生も来るが、そうでなければレベルダウンすると思う。

[回 答]

これまでは偏差値が低い状況にあったようだが、公立化の発表後の入試では、定員200名に対して1500人程度の入試申し込みがあり、レベルも上がったと報告があった。市内で活躍している卒業生はあまりいないようだ。今後は市内でも活躍できる人が出てくることが期待される。また、薬学部が開設されればさらに魅力がアップすることが期待される。

- ⑦ 火葬場の件では市民の意見を聞いてもらったが、大学のことでは市民に知らされていない。もっと市民の内容を知らせるべきである。身の丈に合ったことをやらないと将来が不安だ。新国立競技場のことも、国民が知ったからやめることになった。大学の問題では判断する材料がない。

[回 答]

市民からそのような声が上がったことは伝えていく。